

2015 年いんざいニュース

昨年 1 年間、印西市ではさまざまなことができました。新年を迎えるにあたり、主な出来事をお伝えします。

3月 新しいクリーンセンターへの一歩



稼働から約 30 年経つ現在のクリーンセンター

次期中間処理施設の整備に向けて、吉田区が印西地区環境整備事業組合と基本協定を結びました。

次期中間処理施設とは、新しいごみ焼却施設とリサイクルセンターのことです。

現在、同組合で基本計画と地域振興策の委員会を設置し、検討が進められています。

4月 ふるさと納税者へ特産品を贈呈



印西が誇る、豊かな自然の恵みと伝統の技（一例）

市にふるさと納税（ふるさと寄附金制度）をしていただいた人へ、お礼に印西の特産品を差し上げる取り組みを始めました。印西産のお米や果物、せんべいなどから、寄付金額が 1～3 万円で 1 品、3 万円以上で 2 品を贈呈。

4月 15 年ぶりに小学校開校



これからどんな歴史が刻まれるのでしょうか

市内で 21 番目の小学校となる「牧の原小学校」の開校式が 4 月 6 日に行われ、61 人の児童が新しい学び舎に足を踏み入れました。

小学校には学童クラブと地域交流センター、交流ひろばが併設され、地域の人と人をつなぎ、ふれあいの場となることが期待されます。

4月 市政を支える市議会議員が決定



公正な選挙のため、入念なチェックが行われます

任期満了を迎え、4 月 26 日に市議会議員一般選挙が行われました。今回から定数が 2 減、22 になりました。これに対して 30 人の候補者が議席を争い、現職 15 人、元職 3 人、新人 4 人が当選。

当日の有権者数は 72,743 人、投票率は 47.31% でした。

8月 世界陸上の事前キャンプ開催



トップアスリートが軽やかに走り抜けました

千葉県、成田市、佐倉市、順天堂大学と連携し、世界陸上北京大会でアメリカチームの事前キャンプを誘致しました。

市内では順天堂大学さくらキャンパスが練習場となり、小・中学生との交流イベントも開催され、世界とつながる貴重な機会となりました。

8月 プレミアム付商品券を販売

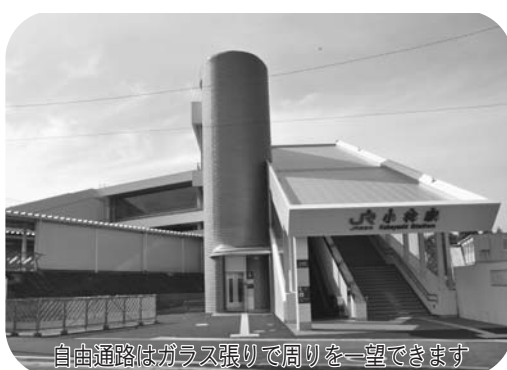


みなさんはどんなものに使いましたか

地域活性化のため、1 万円で 1 万 3 千円分の買い物ができるプレミアム付商品券を 38,000 冊発行。子育て世帯には先行申し込みを受け付け、家計を応援しました。

9 月には追加申し込みを行い、応募多数で抽選販売しました。

9月 小林駅の整備が進んでいます



自由通路はガラス張りですべてを一望できます

2014 年 11 月に駅舎をリニューアルした JR 小林駅で、自由通路の北口エレベーターとエスカレーター、南口階段の工事が完了しました。

9 月 16 日に行われた自由通路の開通式では、三世代夫婦の繁栄にあやかって「親子三世代渡り初め」の記念行事が行われました。

8月・9月 便利なアプリの配信開始



いつでもどこでもぱっと確認

手軽で便利に市の情報を届けるため、スマートフォンなどで使える 2 種類のアプリの配信を開始しました。

ごみの収集日や分別方法を確認できる「ごみ分別アプリ」を 8 月 1 日から、広報いんざいなどを读める「i 広報紙アプリ」を 9 月 15 日から配信中です。

10月 小・中学校に快適な学習環境を



エアコンの設置イメージ

平成 26 年度にまとめた小・中学校普通教室へのエアコン整備計画に基づいて、小学校へのエアコン設置工事が始まりました。

児童・生徒が暑い季節にも授業に集中できるよう、平成 28 年度中には小・中学校への整備を完了する予定です。

10月 20 周年記念キャッチフレーズ決定

キャッチフレーズ
世代を超えて
未来を創る
印西市



ロゴマーク

今年 4 月 1 日の市制施行 20 周年をお祝いするためキャッチフレーズを募集し、113 作品の中から決定しました。市制施行 20 周年を市内外に PR し、記念事業を盛り上げるために使われます。

また、20 周年を記念するロゴマークも決定しました。